

第8回日韓青少年冬季スポーツ交流事業実施要項

= 文部科学省国庫補助事業 = < 日韓共同未来プロジェクト事業 >

1. 目的

2002年サッカーワールドカップ大会の日韓両国の共同開催決定を機に、幅広い年齢層を対象に各種のスポーツ交流を実施することによって、日韓両国の親善と友好をより一層深め、更には両国のスポーツの振興を図ることを目的とする。

2. 交流方式

日韓両国の代表団員が互いの国を訪問し、様々な交流を行う相互交流方式。

3. 主催

財団法人 日本体育協会

4. 共催

(財)北海道体育協会、(財)全日本スキー連盟、(財)日本スケート連盟、
(財)日本アイスホッケー連盟、(社)日本カーリング協会、(財)日本中学校体育連盟

5. 後援

北海道教育委員会

6. 事業内容

[派遣]

(1) 派遣対象(159名)

- ・ 北海道の中学生 130名
- ・ 各競技指導者 22名
- ・ 本部役員 7名

(2) 派遣期間 平成22年1月18日(月)～24日(日) 7日間

* 但し、旅行手配の都合により、1月17日(日)に前泊を行う。

(3) 競技 4競技

< 各競技別派遣人数構成 >

競技	スキー		スケート		アイスホッケー	カーリング	本部役員	合計
	アルペン	クロス カンтриー	スピード	ショート トラック				
中学校 (男子)	12	12	15	10	22	5	-	76
中学校 (女子)	12	12	15	10	-	5	-	54
指導者	3	3	5	3	5	3	-	22
本部役員	-	-	-	-	-	-	7	7
合計	27	27	35	23	27	13	7	159

(4) 会場 韓国・ソウル特別市および江原道

(5) 経費

日本代表団参加料として、1人1万円の負担。

その他派遣に関わる下記の経費は(財)日本体育協会負担。韓国内での滞在費は大韓体育会の負担。

- (a) 集合、離散に関わる国内交通費（但し、自宅から当該体育協会が定める集合場所までの経費は自己負担）
- (b) 前泊に伴う宿泊費（日程上、必要が生じた場合）
- (c) 渡航費（但し、パスポートの取得に関する諸経費は自己負担）
- (d) 旅行傷害保険、ユニフォーム（競技用ユニフォームは含まない）

(6) 参加資格

< 団員 >

- (a) 当該体育協会が推薦する者。
- (b) 平成21年4月1日現在、中学生とする。
- (c) 心身強健で協調性のある者。
- (d) 地域、道内、道外の交流経験がある者。
- (e) 日本国籍を有する者。

< 指導者 >

- (a) 当該体育協会が推薦する者。
- (b) 年齢は40歳程度までの者。
- (c) 国際交流において日本代表としてふさわしい人格・見識を有する者。
- (d) 心身強健で協調性のある者。
- (e) 日本国籍を有する者。

(7) 選 考

当該体育協会からの推薦があり、本会が認める者。

[受 入]

(1) 受入対象（159名）

- ・ 韓国中等部の生徒 130名
- ・ 韓国指導者 22名
- ・ 韓国本部役員 7名

(2) 受入期間 平成22年2月6日(土)～12日(金) 7日間

(3) 競 技 4競技

< 各競技別受入人数構成 >

競技	スキー		スケート		アイスホッケー -	カーリング	本部 役員	合計
	アルペン	クロス カンтриー	スピード	ショート トラック				
中等部 (男子)	12	12	15	10	22	5	-	76
中等部 (女子)	12	12	15	10	-	5	-	54
指導者	3	3	5	3	5	3	-	22
本部役員	-	-	-	-	-	-	7	7
合計	27	27	35	23	27	13	7	159

(4) 会 場 北海道

(5) 経 費 (財)日本体育協会負担